

2020 年度 若手・女性研究者奨励金 レポート

研究課題	法廷通訳人による「裁量的選択」と通訳の「正確性」に関する研究
キーワード	① 法廷通訳、②通訳における正確性、③「裁量的選択」と「直訳」

研究者の所属・氏名等

フリガナ 氏 名	マルシャレンコ ヤコブ エリック MARSZALENKO Jakub Eryk
配付時の所属先・職位等 (令和2年4月1日現在)	名古屋外国語大学 世界教養学部 講師
現在の所属先・職位等 (令和4年7月1日現在)	名古屋外国語大学 世界教養学部 講師
プロフィール	主に英語を用いる法廷通訳を研究しており、特に日英間の差異による通訳への影響に関心を持つ。正確な通訳とは何か、通訳人はどのような役割を果たすべきか、また、文化や社会の背景は法廷通訳とその正確性にどのような影響を与えうるかを探求することによって、法廷通訳への理解を深めることを目指している。

1. 研究の概要

本研究では、法廷通訳人に求められる「正確な訳出」とは何かを探求した。通訳人はしばしば「直訳」を要求されるが、場合によって（例えば起点言語と目標言語における差異）「直訳」は不可能ばかりか、適切な訳出、正確な訳出とは言えない。したがって、通訳人が実際にどのような訳出を行うかを明らかにすることによって、訳出の正確性とは何かについて考察した。

2. 研究の動機、目的

既述の通り、「直訳」はしばしば要求される訳出スタイルであるにも関わらず、正確な訳出ではないということを明らかにすることによって、刑事裁判の関係者（法律家である法曹三者など）による通訳翻訳作業への理解認識を深めてもらうことを目指した。これは通訳を介した刑事手続をより適切、かつ公平なものにするための必要不可欠な第一歩であると考えた。

3. 研究の結果

本研究によって、法廷通訳人は実際、「直訳」ではなく、通訳翻訳を「正確」に行うために尽力していることが明らかとなった。これは特に、日英といった通訳対象となる言語における差異が顕著な場合によく観察できる。例えば、日本語の特徴である敬語（特に尊敬語・謙譲語と丁寧語との使い分け）や数多くの人称代名詞（「私」、「僕」、「俺」など）を「そのまま」英語に訳すことはできるであろうが、元の日本語にある文化的・社会的なニュアンスの違いが失われる恐れがある。また、英語から日本語へ訳す場合、通訳人は様々な選択を迫られる。例を挙げると、英語の「I made a phone call」を日本語に訳す際、「電話をしました」や「電話をさせていただきました」などのような訳があり得る。どちらも「正確」ではあるが、発言の社会的・文化的な文脈を考慮することによって、どのような訳出がより適切かを通訳人は常に考える必要がある。本研究によって、通訳人は実際に上記のような諸事情を考慮し、訳出作業に反映していることが明らかとなった。したがって、日英の違いによって、「直訳」や「逐語的な訳」ではなく、文脈に応じた訳出の方が正確な訳出であり、法廷通訳の意義の担保を保証する訳出スタイルであることが、本研究の結論となる。

4. 研究者としてのこれからの展望

本研究は、コロナ禍の影響によって2年間にわたり、実施した。なお、主な研究方法としては、要通訳刑事裁判を傍聴し、通訳人の訳出をメモして、データ収集を行うことであった。この2年間、英語を用いる刑事裁判を数件傍聴することができ、数多くの通訳事例を収集できた。とはいえ、限られた数の裁判、かつ、限られた通訳人の裁判だったため、英語を用いる法廷通訳の全体図を研究できたとは言えない。したがって、今後も、法廷通訳をめぐる課題や問題をより多くの関係者（要通訳裁判に携わるプロフェッショナルなど）や一般市民に理解を深めてもらうため、研究を続けていきたいと考えている。

5. 支援者（寄付企業等や社会一般）等へのメッセージ

この度、「若手研究者奨励金」に本課題を選定いただき、誠にありがとうございました。また、本制度へのご支援に深く感謝申し上げます。コロナ禍の最中でしたが、無事に研究を進めることができました。法廷通訳に関する理解を深め、学会や論文などで、より広い研究界に研究成果を報告することができました。今後、研究者のみならず、一般市民等にも法廷通訳を含む公益通訳翻訳の重要性及びその意義を理解してもらえよう、研究活動を通じて努力していきたいと思っております。

日本は今後、ますます国際化・グローバル化を進めていき、多言語・多文化のプロセスはもはや止まることはないでしょう。したがって、公益通訳翻訳の一環である法廷通訳の重要性もますます顕著になり、そして、その研究も不可欠なものであり続けると確信しています。今後も、研究者としてその発展に少しでも貢献できるように努力をしたいと考えています。

引き続き、研究者の活動を支援していただきますよう、よろしくお願いいたします。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。